



URL:<http://www.nara-roushikyo.jp/>

奈良県老人福祉施設協議会

検索

奈良県老施協

あおひら

No.

31



2019年

発行所：奈良県老人福祉施設協議会 発行者：植田 誠 事務局：0744-29-0100

奈良県老施協
マスコットキャラクター
「いち奈ちゃん」



奈良県宇陀市 室生の里

もくじ

- 「すぐやることの大切さ」……………1
- 平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 事業の経過報告 ……2~4
- 第31回奈良県老人福祉施設職員研究会議(テーマ別研修委員会主管)……………5
- 第8回(平成30年度)オープンセミナー(養護部会・軽費ケアハウス部会主管)……………6
- 施設の窓……………7
- プチっと講座 ……8
- 編集後記……………8

「すぐやることの大切さ」

奈良県老人福祉施設協議会 副会長 大森 岩一郎

今年新しい天皇が、5月1日に即位し、新元号(248代)となります。10月22日には、「即位礼正殿の儀」が行われます。慌ただしい年になるのではと思っていますが、穏やかな一年であって欲しいと願っています。

藤由達蔵さん(夢実現応援家)の本を興味深く読んでいます。自分にできないことが沢山書かれています。例えば「すぐやる人」が人生の成功者への近道で、行動するために何より大切なのが「気分」であり、先延ばし、先送り癖がありがちになり、考えすぎてうまくいかないとされている人には、「環境を変えると気分も変えられる」と言うことも書かれています。

そこで私も、「デスク周りの整理・整頓」に心

がけますが、長く続けることが出来ません。アンドリュー・カーネギーは「明るい性格は、財産よりも尊いものである」と言っています。

福祉事業を推進していくためには、楽観的で、明るい気持ちが欠かせません。そして、関係スタッフの自信を高める方法は、「出来ているところ・素晴らしいところ・好感の持てるところ」等を気づきや感覚として伝えて評価すると行動してくれると言われます。大切なことは、「利用者・入所者が教えてくれる」ゆとりの気持ちを持って向き合しましょう。

施設を運営していくうえで、常に「明るい性格」「すぐやる」「行動する」を心掛けて、スタッフ・利用者・入所者に係わっていきましょう。

奈良県老人福祉施設協議会 平成30年度事業の経過報告(平成30年4月～12月)

平成30年度事業の経過報告(平成30年4月～12月)

4月

- 生活相談員いとも(第20回)／職種別研修委員会
平成30年4月27日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、18名のご参加をいただきました。
テーマ:「第20回記念!いともの原点を振り返る」
助言者:龍谷大学短期大学部 早川 明氏

6月

- 介護職員実践講座(第1回)／職種別研修委員会
平成30年6月22日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外71名のご参加をいただきました。
テーマ:「介護の基本(尊厳・倫理)」
講師:社会福祉法人カトリック聖ヨゼフ・ホーム 総合施設長 平岡 毅氏
テーマ:「介護に必要な制度の理解」
講師:養護老人ホーム 梅寿荘 施設長 松岡 利和氏
- 生活相談員いとも(第21回)／職種別研修委員会
平成30年6月29日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、18名のご参加をいただきました。
テーマ:「生活相談員としてつながる・つなげる」
助言者:龍谷大学短期大学部 早川 明氏

7月

- 奈良県内特別養護老人ホーム施設状況調査(調査 平成30年7月)／サービス向上委員会
平成30年4月～6月現在の特別養護老人ホームの施設状況について調査を実施しました。
調査内容:職員状況/入退所状況/入所者状況/待機者状況/ショート利用状況 等
- 奈良県内外国人介護職員就労状況調査(調査 平成30年7月)／サービス向上委員会
外国人介護職員就労状況について調査を実施しました。
調査内容:雇用の有無/保有資格の有無/雇用形態/入所者の意見/雇用予定/雇用に関する課題等
- 介護福祉士ファーストステップ研修(1・2日目)／職種別研修委員会



ファーストステップ研修

平成30年7月5日(木)・6日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外27名のご参加をいただきました。

テーマ:「高齢者の尊厳と介護倫理」
講師:特別養護老人ホームゆあほうむ 榛原 玉利 佳代子氏

- 近畿老人福祉施設研究協議会(奈良大会)
平成30年7月26日(木)～27日(金)に開催し、会員内外927名のご参加をいただきました。

テーマ:『「つながり」～共に創り、伴(とも)に生きる～』
プログラム:

1日目(全体会/なら100年会館)

記念講演①「奈良は福祉の原点-聖武天皇・光明皇后と行基菩薩」

奈良県図書情報館館長 国際日本文化研究センター 千田 稔氏
記念講演②「これからの介護事業の経営に向けて」
～厚生労働省での経験から～

マッキンゼー・アンド・カンパニー 日本支社 武内 和久氏

2日目(研究分科会/なら100年会館・ホテル日航奈良・はぐくみセンター)

研究分科会発表(9分科会)52施設37名による発表

8月

- 介護職員実践講座(第2回)／職種別研修委員会
平成30年8月3日(金)、県社会福祉総合センターで開催し、会員内外87名のご参加をいただきました。
テーマ:「リスクマネジメントと介護職員の健康管理」
講師:特別養護老人ホーム 水社 施設長 植村 宏光氏
介護老人保健施設ルポゼまきの 事務長 藤井 道子氏
テーマ:「チームケア、記録の書き方」
講師:特別養護老人ホーム都築苑 施設長 福井 修平氏
- 栄養士研究会(第1回)／職種別研修委員会



栄養士研究会

平成30年8月23日(木)、県社会福祉総合センターにて開催し、40名のご参加をいただきました。

テーマ:「摂食嚥下障害と食事介助」

講師:(株)明治 管理栄養士 服部 紗世氏

- 生活相談員いとも(第22回)／職種別研修委員会
平成30年8月24日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、20名のご参加をいただきました。

テーマ:「施設での医療提供について～入院・通院対応～」
助言者:龍谷大学短期大学部 早川 明氏

- 介護福祉士ファーストステップ研修(3・4日目)／職種別研修委員会

平成30年8月30日(木)・31日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外27名のご参加をいただきました。

テーマ：「ニーズと行動への気づきと対応」

講師：養護老人ホーム梅寿荘 主任生活相談員 今井 康順氏

9月

●機関紙「あおによし」の発行／情報発信委員会

第30号 平成30年9月発行 発行部数2246部
配布先：会員施設、各市町村行政、老人福祉センター、各市町村社協等823ヶ所

●地域密着型サービス連絡会(第1回)

平成30年9月3日(月)、県社会福祉総合センターにて開催し、14名のご参加をいただきました。

「運営推進会議、どのように進めていますか？」等テーマに基づくグループワーク等を行いました。

●施設長連絡会議(第1回)

平成30年9月5日(水)、橿原観光ホテルにて開催し、77名のご参加をいただきました。全国・近畿老協の動向、委員会・部会活動の報告・検討等と共に、特養部会主管で情報交換会を実施しました。

テーマ：「介護人材確保・育成支援とICT・介護ロボットの情報について」

●看護職員研修／職種別研修委員会

平成30年9月7日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、42名のご参加をいただきました。

テーマ：「施設における看取り教育」

講師：畿央大学健康科学部看護医療学科
(大学院兼任) 教授 山崎 尚美氏



山崎 尚美氏

●介護福祉士ファーストステップ研修(5日目)

／職種別研修委員会

平成30年9月21日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外27名のご参加をいただきました。

テーマ：「コミュニケーションの方法と応用」

講師：特別養護老人ホーム水杜 植村 宏光氏

10月

●特別養護老人ホーム待機者状況調査

(調査 平成30年10月)／サービス向上委員会

平成30年10月現在の特別養護老人ホーム待機者状況調査を実施しました。

調査内容：入所申込者数／平均入所申込期間／現在の生活場所／現在の入所希望の有無／他施設申込数 等

●介護職員実践講座(第3回)／職種別研修委員会

平成30年10月5日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外89名のご参加をいただきました。

テーマ：「高齢者の病気の理解」

講師：元大和高田市立病院看護局長・元特別養護老人ホーム慈光園副施設長 油谷 洋子氏

テーマ：「高齢者のからだと機能訓練」

講師：総合リハマネジメント研究所 所長 本村 清二氏

●施設長連絡会議(第2回)

平成30年10月12日(金)、リガーレ春日野にて開催し、75名のご参加をいただきました。全国・近畿老協

の動向、委員会・部会活動の報告・検討等と共に、サービス向上委員会主管で講演会を実施しました。

テーマ：「変革の時代に求められる最高のリーダー像とは」

講師：シンクタンク・ソフィアバンク 代表 藤沢 久美氏

●事務職員研修／職種別研修委員会

平成30年10月16日(火)、県社会福祉総合センターにて開催し、46名のご参加をいただきました。

テーマ：「事務職員としての基礎知識」
～働くことの意味・ハラスメント対策なども含めて～

講師：奈良きたむら社労士事務所 喜寿村 裕彦氏
(社会保険労務士)



喜寿村 裕彦氏

●介護福祉士ファーストステップ研修(6・7日目)／職種別研修委員会

平成30年10月18日(木)・19日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外28名のご参加をいただきました。

テーマ：「職場間連携の実践的展開」

講師：ケアハウスあくなみ苑 施設長 田中 将史氏

テーマ：「家族や地域支援力活用と強化」

講師：社会福祉法人祥水園 北野 耕一氏

●生活相談員いとも(第23回)／職種別研修委員会

平成30年10月26日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、16名のご参加をいただきました。

テーマ：「施設におけるハラスメントについて考える」
助言者：龍谷大学短期大学部 早川 明氏

●「なら介護の日2018」啓発活動事業への参加

／情報発信委員会

平成30年10月27日(土)、奈良100年会館・中ホールにて開催された大会での啓発活動事業へ参加しました。

●2019年度施策並び予算に関する要望書提出

／情報発信委員会

平成30年10月30日(火)に奈良県知事・奈良県議会議長、奈良県議会厚生委員会委員長に対して「2019年度施策並びに予算に関する要望書」を提出しました。

11月

●第31回奈良県老人福祉施設職員研究会議

／テーマ別研修委員会

平成30年11月5日(月)、ホテル日航奈良にて下記の内容で開催し、会員内外287名のご参加をいただきました。

●オープンセミナー／養護部会・軽費ケアハウス部会

平成30年11月12日(月)、県社会福祉総合センターで開催し、会員内外129名のご参加をいただきました。

●2019年度施策並び予算に関する要望書提出

／情報発信委員会

平成30年11月13日(火)に奈良市長・奈良市議会議長・奈良市議会厚生消防委員会委員長に対して「2019年度施策並びに予算に関する要望書」を提出しました。

●栄養士研究会(第2回)／職種別研修委員会

平成30年11月15日(木)、県社会福祉総合センターにて開催し、40名のご参加をいただきました。

テーマ：「高齢者に寄り添って経口補水療法の可能性」

講師：社会福祉法人希望会 特別養護老人ホームのぞみの社
事業部長 山下 理沙 氏

●介護職員実践講座（第4回）／職種別研修委員会



介護職員実践講座

平成30年11月16日（金）、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外86名のご参加をいただきました。

テーマ：「認知症ケア」

講師：デイサービス リ・ターン 管理者 竹原 美幸 氏

テーマ：「口腔ケア」

講師：特別養護老人ホームあじさい園 園長 松村 清子 氏

●地域密着型サービス連絡会（第2回）

平成30年11月20日（火）、橿原公園ジョギング&サイクリングステーションにて講演会を実施し、会員内外より22名のご参加をいただきました。

テーマ：「地域密着型サービスの介護従事者に求められるもの」

講師：福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科

教授 奥西 栄介 氏

●介護福祉士ファーストステップ研修（8・9日目）

／職種別研修委員会

平成30年11月21日（水）・22日（木）、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外28名のご参加をいただきました。

テーマ：「観察・記録の的確性」

講師：特別養護老人ホーム国見苑 施設長 山本 茂雄 氏

テーマ：「セーフティマネジメント」

講師：特別養護老人ホーム水杜 施設長 植村 宏光 氏

12月

●施設長連絡会議（第3回）

平成30年12月4日（火）、橿原観光ホテルにて開催し、76名のご参加をいただきました。全国・近畿老協の動向、委員会・部会活動の報告・検討等と共に、テーマ別研修委員会主管の施設長研修会を実施しました。

テーマ：『ICT、介護ロボットの導入に向けて』

講師：株式会社三菱総合研究所ヘルスケア・ウェルネス事業本部

ヘルスケア・データ戦略グループ 齋藤 顕是 氏

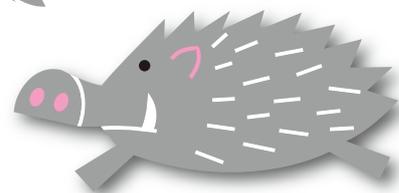
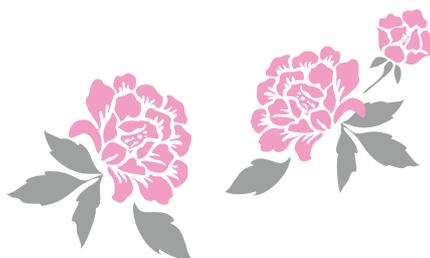
●生活相談員研修／職種別研修委員会

平成30年12月7日（金）、県社会福祉総合センターにて開催し、29名のご参加をいただきました。

テーマ：「ソーシャルワークの視点を深める」



早川 明 氏



～ソーシャルワークの機能から実践を振り返る～

講師：龍谷大学短期大学部社会福祉学科 講師 早川 明 氏

●介護福祉士ファーストステップ研修（10・11日目）
／職種別研修委員会

平成30年12月13日（木）・14日（金）、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外27名のご参加をいただきました。

テーマ：「介護職員の健康・ストレス管理」

講師：介護老人保健施設 ルボゼまきの 事務長 藤井 道子 氏

テーマ：「中堅職員としてのリーダーシップ」

講師：特別養護老人ホーム延寿 主任生活相談員 小河 良 氏

●生活相談員いとも（第24回）／職種別研修委員会

平成30年12月21日（金）、県社会福祉総合センターにて開催し、18名のご参加をいただきました。

テーマ：「地域の社会資源を知っていますか？」～地域の力を使った施設サービスの向上について～

助言者：龍谷大学短期大学部 早川 明 氏

第31回奈良県老人福祉施設職員研究会議(テーマ別研修委員会主管)

テーマ別研修委員会 委員長 玉利 佳代子



開会式

今年度で第31回を迎える「奈良県老人福祉施設職員研究会議」開催にあたっては、現場の力や声を発信し、参加者と共に学び・考え・行動する機会にしたいとの思いで、多くの職種・施設・事業所にご参加いただき、また多くの研究発表をいただける会議とするべく、企画いたしました。

会議では、5つのテーマに別れて研究分科会を開催いたしました。各分科会タイムスケジュールを統一することで、自施設の取り組みにリンクする発表があれば別分科会への移動も可能とし、自施設のサービスの質の向上に向け、本研究会議が契機となることを願っております。当日は、各参加者が複数の分科会会場を回り、情報共有をしていただける、活気のある研究分科会とすることができました。

目標参加者数300名・発表題数30題と高く掲げ、奈良県老人福祉施設協議会会員施設・事業所様には多大なご協力をいただき感謝申し上げます。



分科会

各施設・事業所では、それぞれに素晴らしい取り組みを実施されています。今後も職員研究会議という場で、その取り組みを積極的に発信していただき、互いに共有することで、各施設・事業所のサービスの質の向上に繋がっていくことができると考えております。

開催日・会場 平成30年11月5日(月) ホテル日航奈良
参加者数 287名

テーマ 「我が事・丸ごと 地域共生社会実現を目指して」
～魅力ある我々が、今こそ底力を見せるとき!～

記念講演

テーマ：「人と人をつなぐ、思いの伝え方」

講師：株式会社日本旅行西日本営業本部担当部長／
株式会社日本旅行西日本
『おもしろ旅企画ヒラタ屋』代表／
ナニワのカリスマ添乗員
平田 進也 氏



研究分科会発表(5分科会) 25施設37名による発表

- 第1分科会 「個別ケアの取り組み(伴走型自立ケアに向けた取り組みなど)」
- 第2分科会 「個別ケアの取り組み(多職種連携と個別ケアシステムの構築など)」
- 第3分科会 「在宅生活を支える取り組み」
- 第4分科会 「チャレンジ!!～私たちが取り組んでいること～(介護ロボット導入と人材確保・育成)」
- 第5分科会 「チャレンジ!!～私たちが取り組んでいること～(サービス向上に資するケアの実践)」

第8回(平成30年度)オープンセミナー(養護部会・軽費ケアハウス部会主管)

奈良県老人福祉施設協議会 養護部会 理事 平岡 毅



オープンセミナー

2011(平成23)年度より本オープンセミナーを企画し、老人福祉施設の周知に努めております。

今年度は、11月12日(月)に『養護・軽費老人ホーム(ケアハウス)についての学びとわかち』～施設のことを知らない“ひと”がいる現実にチャレンジする8回目～と題し、「生活・生涯支援」を必要とする高齢者のセーフティネットとして地域に存し在るべく、施設が担っている役割及び日々の支援内容を理解いただくこと、そして地域での高齢者支援のネットワークの一員として、認識を深めていただくことを目的に開催させていただきました。

当日は、県議会・市町村議会議員、自治体職員、地域包括支援センター・地域定着支援センター・居宅介護支援事業所・病院の地域医療連携室・介護老人保健施設・救護施設・矯正施設等々の職員、民生委員・人権擁護委員等々と多岐にわたる分野、職種の方にご参集いただきました。

今後も、奈良県内全ての皆さまに養護老人ホーム・軽費老人ホームの役割を周知していくまで、本オープンセミナーを継続していきたいと考えています。

開催日・会場 平成30年11月12日(月)
県社会福祉総合センター

参加者数：129名

テーマ：『養護・軽費老人ホーム(ケアハウス)についての学びとわかち』
～施設のことを知らない“ひと”がいる現実にチャレンジする8回目～

内容：基調報告 奈良県老人福祉施設協議会 顧問 辻村 泰範氏
講演

テーマ：“老後破綻”が叫ばれる現代社会の真っ只中で「養護老人ホーム」という社会資源を考える

講師：東海大学健康学部健康マネジメント学科
教授 中野 いずみ氏



オープンディスカッション

テーマ：「施設に“繋ぐ”という方法とその支援のポイント」
～施設を“活用する”という視点の学びとわかち～

・問題提起 社会福祉法人カトリック聖ヨゼフ・ホーム
総合施設長 平岡 毅氏

・進行・発題者 養護老人ホーム平沼寮 副施設長・主任生活相談員
大垣 太志氏

・発題者 <養護(一般)> 和楽園 湯浅 恵介氏
<養護(盲)> 慈母園 森 史子氏
<軽費> 明日香楽園 松本 安高氏
<ケアハウス> かしの木 杉本 行彦氏
<救護施設> 青垣園 松河 聡子氏



オープンディスカッション

施設の窓

施設職員インタビュー



社会福祉法人うねび会 特別養護老人ホーム
ぼれぼれケアセンター白檀
介護補助 天谷 治枝 さん

現在、介護人材不足が大きな課題となる中、資格・年齢・障がいの有無に関わらず、様々な方に働いてもらうことができるよう、職種や働き方を設定している施設・事業者が増えています。

今回はその一例として、「介護補助」という働き方を取り入れられている社会福祉法人うねび会 特別養護老人ホームぼれぼれケアセンター白檀の取り組みを、日下哲也施設長よりご紹介いただきます。

また同施設で介護補助として勤務されている天谷さんに、介護補助の仕事について聞きました。

施設長 日下 哲也 さん

インタビュー

社会福祉法人うねび会では、介護職の人材確保が困難になる中、60代70代の職員を積極的に採用し働いてもらっています。現在65歳以上の職員が105人中26人です。

業務としては、介護補助的な仕事を中心です。居室清掃やシーツ交換、共有部の清掃、配膳下膳の手伝いなど、間接的な業務を行ってもらっています。直接介助を行う介護職にとっては、利用者のケアに集中する事ができ、また社会経験が豊富であり生活感覚に長けているので、若い職員へのアドバイスにもなり、相乗効果が出ています。これからも末永く働いてもらいたいと思っています。

建物内に事業所内保育園、障害者雇用も進めており、多世代共生ケア施設として、子供も大人も高齢者も障がい者も、みんな一緒にの生活をお過ごしいただいています。



介護補助 天谷 治枝 さん

インタビュー

69歳で定年になり、ゆっくりしようかなと思いましたが、少しでも働いた方がいいと考え、掃除は好きだったのでできるかなと思い、家のそばのぼれぼれに電話しました。「ちょうど清掃の仕事があるよ」と言われ喜んでいました。仕事は、居室や共有部の清掃を行っています。同僚から「ごくろうさん、細かな所までありがとう」などの声をかけてもらえると、励みになって頑張ることができています。利用者さんとの会話も楽しいです。仕事をするといい運動にもなるし健康のためにもずっと働ければと思います。現在72歳ですが、これからもよろしくお願ひします。



仕事の様子

プチっと講座

(アドバンス・ケア・プランニング)

ACP ≪愛称「人生会議」≫について

終末期においては、約70%の方が医療・ケアなどについて、意思表示が出来なくなると言われています。

自らが希望する医療・ケアを受けるためには、大切にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要になります。

自らが望む終末期における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取り組みを「**アドバンス・ケア・プランニング (ACP)**」と呼びます。

そのACPについて、普及啓発のため愛称が募集され、平成30年11月末に『人生会議』と決めました。わかりやすい愛称ができたことで、広く認知されることが期待されています。

編集後記

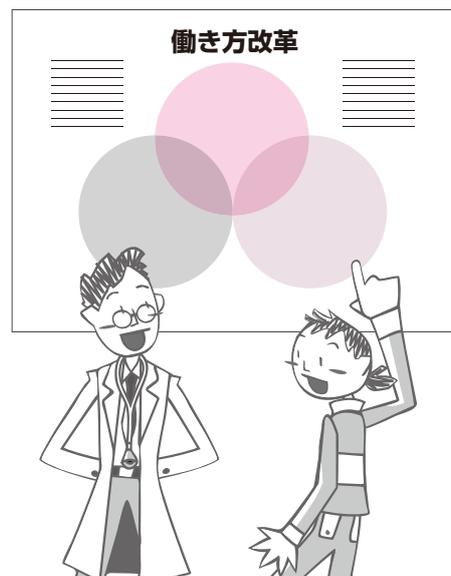
「あおによし」の発刊に際し、ご協力を賜りました関係各位の皆様には大変感謝申し上げます。

5月より元号が平成から変わります。平成最後の機関誌発行に微力ながら私も携われたことにうれしく思います。

現在、国をあげて取り組んでいる「働き方改革」の波は、介護業界にも押し寄せています。各施設・事業所が業務内容や処遇の見直し、仕事の分業など知恵を絞り取り組んでおられることと思います。

「あおによし」ではそのような様々な情報の共有を図る場として、情報を発信できればと考えています。また、同職種だけでなく多職種からの情報も積極的に発信していければと考えています。

最後に新しい元号は何になるのかはわかりませんが、元号に込められた想いが表れる社会になりますことをお祈りいたします。



さくら苑 香束 佳孝